



キッズ

5-1-2ミュージック・クラフト

5月12日／西南大会館ホール

出演＝ヒート・ウェイブス、マニッシュ・ボーイズ、ザ・キッズ

主催＝西南大総合音楽研究会

西南大の総音研は人気バンドのギグを安くやってくれるので銭なしコネなし借金ありというロック・ファンにとってもありがたい存在だ。今回のギグにはメイン・ストリートも熊本からギター下げてやって来る予定だったが、あいにく田植の準備が忙しくて(うそヨ)キャンセルとなったため急拠ヒート・ウェイブスが出演したのであるが、いつもはハリキリ元気一発の彼らも、あまりの急場のためか、もう一つがガッツが感じられないステージで、30分もしないうちに退場。しかし演奏は確かなものだったし、特にドラマーが非常にパワフルなのが救いだった。マニッシュ・ボーイ

ズは相変わらずの骨っぽいステージ。ちょっと三善博樹(vo.)のふてぶてしさが隠れてしまっていたが、ギター2本のバランスのことを除けば、バンドとしてだいぶ固まって来た様だ。

キッズに関しては、 $\frac{1}{2}$ いとうずゆうえんでのライブのPA状態が最悪だったとか伝え聞いていたが、まるで何もなかったかの様なステージを觀せてくれて—安心。ライブ活動を始め出した頃の曲「ロンドン・キッズ」も出てきて、いや懐しかったな～。アンコールの頃にはステージ前で40人位が踊り狂っていた。しかしキッズもその知名度、人気の割にはライブが少ない様に思われるが…。どうしてなんだろう？

結局入場者は270名弱で、まあまあの入りだったんじゃないだろうか。また秋にはこの手のイベントを予定しているらしい西南大総音研、次は5バンド位でやって欲しいな。(K)